

文化生涯学習課

1 文化振興事業

予算科目(款・項・目) 10・35・05 [決算書134ページ]

市民に文化芸術に触れる機会を提供するため、様々な文化振興事業を実施するもの

(1) 彫刻のある街づくり事業

多摩川桜堤通りに設置している10体の彫刻作品の維持管理を行った。

作品名及び作者は、次のとおり

ア	「H a r m o n y」(ステンレススチール製)	松本 憲宜
イ	「生命の樹と授かりものたち」(ブロンズ製)	松本 雄治
ウ	「花の柱」(本小松石製)	平山 隆也
エ	「リバイアサン」(ブロンズ, 河原石製)	天野 裕夫
オ	「風のフォルム」(赤みかげ石製)	須藤 博志
カ	「童の夢」(黒みかげ石, 白みかげ石製)	宮澤 光造
キ	「プリアテル」(ブロンズ製)	前田 忠一
ク	「大地の使者」(黒みかげ石製)	鈴木 武右衛門
ケ	「N y m p h」(黒みかげ石, 桜みかげ石製)	平井 一嘉
コ	「町村制100周年記念碑」(ブロンズ製)	作者不詳

(2) 姉妹都市等交流事業

調布市の姉妹都市である長野県木島平村と、市民と村民との相互理解と交流を図るため、文化活動を中心とする交流事業を実施した。

ア 姉妹都市交流事業

(ア) 姉妹都市木島平村体験バスツアー

市民に姉妹都市木島平村の魅力を知っていただき、市民と村民との交流を深めるため実施している木島平村へのバスツアー事業を2回実施した。

事業名	実施日	参加者数(人)	事業概要
木島平村体験バスツアー「初秋の木島平でダリア鑑賞・カヤの平高原散策・ぶどう狩りの旅」	9月17日 ～19日	30	郷の家での昼食, やまびこの丘公園のダリア鑑賞, カヤの平高原の散策, フルーツ狩り等の実施
木島平村体験バスツアー「家族で木島平! スキー・スノーボードツアー」	3月17日 ～19日	58	家族で木島平スキー場をたのしんでもらうため, リフト券付きのフリープラン

(イ) 調布・木島平交流クラブバスツアー

調布・木島平交流クラブとの共催により、木島平村へのバスツアーを3回実施した。

事業名	実施月日	参加者数(人)	事業概要
木島平村春の体験バスツアー	6月4・5日	12人	田植え体験, アスパラ狩り体験等の実施

木島平村稲刈り体験・ダリア鑑賞バスツアー	10月1・2日	22人	やまびこの丘公園散策，稲刈り体験等の実施
リンゴ狩り体験バスツアー	11月19・20日	33人	高橋まゆみ人形館の見学，リンゴ狩り等の実施

イ 姉妹都市交流事業助成

木島平村との文化，スポーツ，教育等を通じた交流事業を行う各種団体に対し事業費を助成するもの

助成団体数 なし

ウ 姉妹都市宿泊費助成事業

市内在住・在勤・在学者等が，木島平村内の指定された宿泊施設に宿泊する際の宿泊費を助成した。

延べ利用泊数 6,661泊（うち，中学生5,637泊，65歳以上251泊，その他773泊）

エ その他の交流の取組

令和4年度中学生被爆地平和派遣事業に参加した“ちょうふピースメッセンジャー2022”が制作したメッセージボードを木島平中学校「けやき祭」で展示した。

実施期間 令和4年9月30日から同年10月1日まで

会場 木島平村立木島平中学校

(3) 平和祈念事業

調布市国際交流平和都市宣言及び調布市非核平和都市宣言の理念に基づき，幅広い年齢層の市民に平和について考える機会を提供するため，各種平和事業を実施した。

また，「平和首長会議（平成22年加盟）」や「日本非核宣言自治体協議会（令和3年加入）」の加盟自治体として，世界の恒久平和を希求する自治体との連携や平和交流を実施した。

ア 中学生被爆地平和派遣事業（ピースメッセンジャーの取組）

次代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し，戦争・平和に関する現地施設の見学等を通じて，戦争の悲惨さや平和の大切さについて肌で学ぶ機会を設け，その成果を広く市民へ還元することを目的に実施する事業。市内在住・在学の中学生を市民の代表“ピースメッセンジャー”として長崎へ派遣し，青少年ピースフォーラムに参加したほか，折り鶴プロジェクトで集まった折り鶴の献納を行った。派遣の前後の学習会をはじめ，子どもたちの学習支援としてNPO法人ちょうふ子どもネットと連携し，派遣後は，市特別職や市議会議長，副議長への報告会を実施したほか，調布市平和展における市民への報告会や市内公共施設等でピースメッセンジャー及びピースメッセンジャージュニアが作成したメッセージボードの巡回展示を実施し，学びの成果を広く市民へ還元した。

派遣実施日 令和4年8月8日から同月10日まで

参加者数 11人

イ ピースメッセンジャージュニアの取組

FC東京との連携により，FC東京の夏のアウェイゲーム開催にあわせて市内在住・在学の小学生（5年生・6年生）を“ピースメッセンジャージュニア”として広島へ派遣し，サッカーJリーグの競技観戦や平和祈念施設の見学など，平和学習の取組を推進し

た。

派遣実施日 令和4年7月30・31日

参加者数 5人

ウ 平和祈念情報誌「ピース・レターちょうふ」の発行

夏の平和事業の紹介及び平和に関する情報を発信するため「ピース・レターちょうふ」を発行した。

発行 令和4年7月

発行部数 17,500部

エ 調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト

平和首長会議が実施する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」に応募する作品を選定するため、市内在住の子どもを対象に作品を募集した。各部門に市独自の賞を設け、受賞者10人に表彰状を授与するとともに、受賞作品をデザインに活用したクリアファイル及びふせんを作成し、普及啓発を図った。

実施期間 令和4年7月1日から同年10月11日まで

募集部門 6歳～10歳の部、11歳～15歳の部

応募数 全35作品

賞名 調布市長賞

調布市議会議長賞

調布市教育長賞

調布市文化・コミュニティ振興財団理事長賞

調布市国際交流協会理事長賞

オ 水木しげるの生誕100周年記念・調布市平和祈念展「水木しげるが見た光景」～紡がれる想いと言葉～

水木しげるの氏生誕100周年記念プロジェクトと連携し、戦記漫画を中心とした作品や水木氏が残した言葉の展示を実施した。また、展示期間中に株式会社水木プロダクションの原口尚子氏によるギャラリートークを実施した。

開催日 令和4年10月8日から同年11月30日まで

会場 文化会館たづくり展示室

来場者数 11,585人

カ ゲゲゲのサンドアート

市の「ゲゲゲ忌」の開催期間にあわせて、布多天神社境内において、調布市ゆかりの世界的なサンドアーティストである保坂俊彦氏による水木キャラクターをモチーフとしたサンドアート作品制作・展示を実施した。また、展示期間中に、市民を対象としたサンドアート体験ワークショップを実施した。

展示期間 令和4年11月21日から令和5年2月28日まで

会場 布多天神社境内

ワークショップ参加者数 67人

キ 調布市平和展

戦争による被害の実相や次代を担う子どもたちの平和への想いなど、展示を通して様々な角度から戦争・平和について学び、考える機会として、東京都平和の日である3月10日にあわせて開催した。長崎市から借用した被爆資料や写真・ポスターや「調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト」応募作品に加え、関連する都内の国立施設「しょうけい館」

の紹介資料のほか、市の平和に関する各種取組について展示した。

また、調布市原爆被害者の会の協力の下、被爆体験者による講話及びピースメッセンジャーによる報告会を開催した。

開催日 令和5年3月9日から同月14日まで

会場 文化会館たづくり南ギャラリー

来場者数 248人

ク 平和事業連絡会

平和祈念事業を実施している関係各課（館）の担当者が、所管する事業について情報共有を行うとともに、事業間の連携や平和施策全体の効果的な展開に向けた協議を行った。

開催回数 2回

ケ その他の平和祈念事業

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業概要
防災行政無線による黙とうの呼びかけ	8月6日, 9日, 15日, 3月10日			広島・長崎への原爆投下, また, 東京大空襲で犠牲となった方々のご冥福を祈るとともに, 世界の恒久平和の実現を祈念するため, 防災行政無線による黙とうの呼びかけを行った。呼びかけは, ピースメッセンジャー2022が行った。
ナガサキ 映画と朗読プロジェクト	7月23日	長崎原爆資料館ホール (オンライン参加)	700	長崎市で開催されたイベントにオンラインで参加し, ピースメッセンジャー2022が朗読を発表した。
調布市平和映画・講話・朗読会	8月4・5日	文化会館たづくり	50	市内映像制作事業者との共催により, 被爆体験伝承者による講話やピースメッセンジャー2022の朗読発表, ドキュメンタリー映画上映を実施し, 多くの市民の方々に来場いただき, 平和について考えるきっかけの一つとなった。
平和祈念映画会	9月2日, 4日	文化会館たづくり		新型コロナウイルスの影響に伴い中止

(4) パラハートちょうふ関連事業

共生社会の充実に向け市が掲げる「パラハートちょうふ」の理念のより一層の普及啓発を図るため、各種事業を実施するもの

ア パラアート展及び「パラハートちょうふ」の取組

(ア) パラアート展2022

「パラハートちょうふ」の取組の一環として、市内の福祉作業所等で活動する方々の

アート作品の展示を調布市福祉作業所等連絡会と共催により実施した。

コーディネーターがキットを配布して制作した「ワークショップ作品」（はっぴ・大旗）と、作業所等が日常の活動の中で制作した「自主制作作品」を展示した。また、「調布よさこい」と協力開催として実施し、よさこいイベント会場において、制作したはっぴや大旗を使用するなどの連携を図った。加えて、文化・コミュニティ振興財団主催事業「クリエイティブリユースでアート！」と連携したパラアート展来場者向けのワークショップを実施したほか、パラアート展開催後、調布市障害者スポーツ体験会やトリエ京王調布での作品展示を行い、取組の普及啓発に努めた。

開催期間 令和4年8月25日から同月31日まで

会場 文化会館たづくり北ギャラリー

来場者数 2,149人

(イ) 調布市パラアート展関連勉強会

今後のパラアート展の発展的な開催に向けて、他自治体の障害者の芸術活動支援における先駆的な取組を学び、事業展開の参考とするため、パラアート展参加団体向けの勉強会を2回実施した。企業や地域との連携、アートのデザインを活用した発展的な取組などにノウハウのある株式会社フクフクプラスを講師に招いて開催した。

a パラアート展勉強会

開催日 令和4年10月27日

会場 文化会館たづくり8階映像シアター（オンライン併用）

b パラアート展勉強会

開催日 令和5年2月20日

会場 文化会館たづくり9階研修室

(5) 文化・芸術団体事業助成

ア 深大寺短編恋愛小説

深大寺の由来として今も伝わる「深大寺縁起絵巻」の恋物語を企画の拠りどころとし、「恋愛」をテーマに、「深大寺地域」を舞台とした小説を公募するもの。383作品の応募があり、6作品が入賞した。

なお、授賞式は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止した。

イ 調布市文化協会との連携

事業名	実施月日	会場	事業概要
※他縣市文化協会との研修交流			他自治体文化協会との情報共有や交流を図るもの
※第38回木島平村夏祭り			姉妹都市の長野県木島平村の夏祭りに参加するもの
第67回調布市民文化祭	10月6日 ～11月13日	文化会館たづくり, グリーンホール	市民の文化活動の発表の場として、実行委員会を組織し市民文化祭を開催した。令和4年度は、3年振りに調布駅前広場で文化フェスタを実施した。

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

2 国際交流事業

予算科目(款・項・目) 10・35・05 [決算書134ページ]

地域の国際化を高め、市民の創意と活力を生かしながら、市民を中心とした草の根の国際交流を進める調布市国際交流協会に対し補助金を交付し、支援を行うとともに、市民団体との共催などによる国際理解事業を行うもの

(1) 外国人専門家相談会

外国人支援及び多文化共生の推進を図るため、調布市国際交流協会に業務委託を行い、弁護士や行政書士などの専門家が一堂に会し、多言語の通訳ボランティアによる協力の下、外国人住民が抱える多岐に渡る悩みや生活相談に対応する「外国人のための専門家相談会」を実施した。

なお、(一財)東京都つながり創生財団が都内で実施される同様の取組をとりまとめて情報発信している「外国人のためのリレー専門家相談会」との連携事業とし、外国人の相談機会の確保につなげた。

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業内容
外国人専門家 相談会	10月22日	文化会館 たづくり	13 (11組)	英語、中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、ポルトガル語に対応可能な通訳ボランティアを配置して実施した。

(2) 外国人のための調布市暮らしのガイドの発行

平成27年度に発行した外国人向け生活ガイドブック「調布市外国語版生活便利帳」について、生活環境や行政制度等の変更に伴い、内容を改訂し、やさしい日本語も併記した「外国人のための調布市暮らしのガイド」を作成した。作成に当たっては、調布市国際交流協会の外国人会員の協力により、使いやすさやわかりやすさの視点から内容構成について御意見をいただくとともにやさしい日本語の表現についても確認いただいた。

発行 令和5年2月

発行部数 1,500部

(3) 共催事業

調布市国際交流協会との共催事業として、以下の事業を実施した。

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業内容
国際理解講座 「ウクライナ出身の留学生に聞く『ウクライナのこと』」	5月19日	文化会館 たづくり	46	調布市国際交流協会の会員でもある早稲田大学大学院生のアナスタシア・ポリシユチュク氏を講師に迎えて開催した。
国際理解講座 「やさしい日本語研修」	2月1日	文化会館 たづくり	67 ※監理団体職員、 調布市国際交流協会会員含	前年度に引き続きやさしい日本語アドバイザーを講師に市職員及び関連団体合同の研修会を実施し、「やさしい日本語」の普及・啓発に取り組んだ。行政文書を

			む	やさしい日本語に翻訳し、言い換えた内容が、当日参加した調布市国際交流協会の外国人会員に通じるか確認しながら取り組んだことで、実践的な演習の場になった。
CIFA フレンドシップデー2023	3月25日	文化会館 たづくり	201	日本を含む世界の国約12か国の文化紹介やダンス・民族衣装の展示を通して、国際交流及び異文化理解を深めることができた。
交流事業（バスツアー）	2月25日	鎌倉周辺	25	新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、3年振りに開催し、密を避けるためバス定員の半数を定員とするなど、工夫を講じながら実施した。なお、ウクライナ避難民の方々にも参加いただく機会となった。

(4) サウジアラビア王国との交流

2002 FIFAワールドカップ日韓大会時に調布市がサウジアラビア王国代表チームのキャンプ地となったことを契機に交流が始まったもの

ア サウジアラビア文化展

サウジアラビア王国との交流20周年の節目の年として、2022 FIFAワールドカップ・カタール大会の開催時期に合わせて開催するとともに、市とサウジアラビア王国のこれまでの交流の紹介やサウジアラビアの伝統的な民芸品、テント及び写真の展示のほか、市内の子どもたちや調布市サウディアラビア友好会等の協力により、サッカーのサウジアラビア代表及び日本代表を応援する動画を作成し放映した。

開催期間 令和4年11月19日から同月23日まで

会場 文化会館たづくり北ギャラリー

来場者数 266人

イ サウジアラビア王国建国記念展示

サウジアラビア王国建国記念日に合わせて、たづくり1階エントランスステージでサウジアラビア王国を紹介する展示を実施した。

実施期間 令和4年9月20日から同月25日まで

(5) ウクライナ避難民への支援

ウクライナから非難された方の市内における当面の生活を支援するため、一時金の支給を実施したほか、調布市国際交流協会の協力による日本語学習支援や翻訳・通訳サポート支援等の取組を実施した。さらに、東京都と連携した情報共有により、ウクライナ避難民の方の交流の場を提供した。

3 消費生活対策事業

予算科目（款・項・目）10・35・10〔決算書136ページ〕

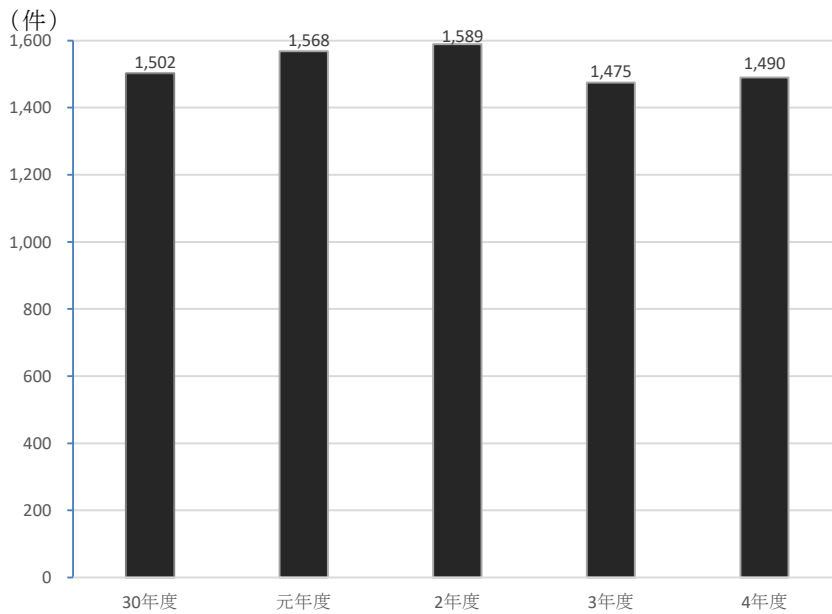
(1) 消費生活相談

市民の消費生活の安定と向上を確保するため、消費生活センターを設置し、専門の資格を有する消費生活相談員が、来所、電話による相談を受け付けるもの

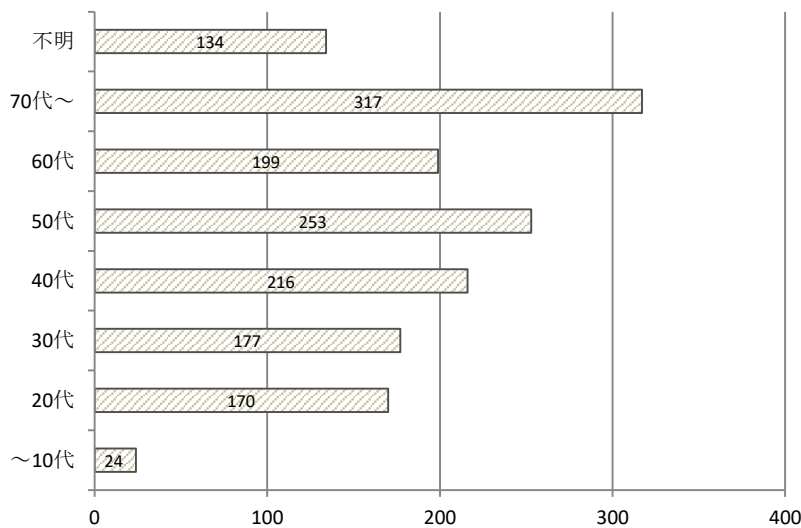
また、消費生活相談員は、相談業務とともに、消費者トラブルの未然防止のため、市報及び市ホームページのコラム執筆や、調布FMへの出演のほか、出前授業等による消費者啓発事業に携わった。

相談員体制 月曜日～金曜日3人、第2土曜日午前中2人

ア 年間相談件数の推移



イ 年代別件数



ウ 処理結果別相談内訳

種類	件数 (件)	割合 (%)
他機関紹介	24	1.61
助言 (自主交渉)	1,216	81.61
その他情報提供	72	4.83
あっせん解決	134	8.99
あっせん不調	12	0.81
処理不能	6	0.40

(件)

処理不要	15	1.01
継続	11	0.74
合計	1,490	100.00

- ※ 「他機関紹介」とは、センターでは、あっせん・アドバイス等一切の処理をせず他機関を紹介したもの
- ※ 「助言（自主交渉）」とは、相談員のアドバイス等により、相談者が事業者自ら交渉することで解決したもの
- ※ 「その他情報提供」とは、あっせん以外の処理で、助言（自主交渉）に該当しない回答をしたもの
- ※ 「あっせん解決」とは、相談員が相談者と事業者の間に入ることで、解決がみられたもの
- ※ 「あっせん不調」とは、相談員があっせんと試みたが、相談者と事業者との間で折り合いがつかず、解決をみなかったもの
- ※ 「処理不能」とは、何らかの物理的理由で処理できなかったもの（相談者に連絡が取れなかった等）
- ※ 「処理不要」とは、相談者が単にセンターに情報を提供しただけであり、処理を望んでいないもの
- ※ 「継続」とは、引き続き相談を行っているもの

エ 商品別相談内訳

商品大分類	件数（件）	割合（％）
商品一般	85	5.71
食料品	83	5.57
住居品	82	5.50
光熱水品	20	1.34
被服品	124	8.32
保健衛生品	143	9.60
教養娯楽品	128	8.59
車両	26	1.75
土地建物	43	2.89
他の商品	2	0.13
クリーニング	1	0.07
レンタルリース	83	5.57
工事建築	48	3.22
修理補修	38	2.55
管理保管	2	0.13
役務一般	4	0.27
金融保険	82	5.50
運輸通信	105	7.05
教育	6	0.40
教養娯楽	134	8.99
保健福祉	94	6.31
他の役務	111	7.45
内職副業	16	1.07

他の行政	9	0.61
他の相談	21	1.41
合計	1,490	100.00

オ 内容別相談内訳（複数回答）

相談内容分類	件数（件）	割合（％）
安全衛生	40	1.60%
品質機能	157	6.29%
法規基準	10	0.40%
価格料金	150	6.00%
計量量目	5	0.20%
表示広告	81	3.24%
販売方法	616	24.65%
契約解約	1,263	50.54%
接客対応	148	5.92%
包装容器	1	0.04%
施設設備	6	0.24%
買物相談	7	0.28%
生活知識	6	0.24%
その他	9	0.36%
合計	2,499	100.00

(2) 消費者教育事業

消費者教育の推進に関する法律を踏まえ、広く市民が消費生活に関する様々な知識を習得し、自主的な判断・行動により、消費生活を営むことができるように各種事業を実施するもの

ア 夏休み親子消費者講座（開催1回，29人）

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業目的	講師名
自由研究に役立つ！雲について楽しく学ぼう！	7月29日	文化会館 たづくり	29 (14組)	お天気クイズやペットボトルを使用した体験学習（簡易実験）を取り入れ、暮らしを科学的に見る目を養い、サイエンスの分野への関心を深める学習機会を通じて暮らしの知恵を身につける。	水渡 敬子 (一社) 日本 気象予報士会 サニーエン ジェルズ

イ 消費者講座（開催5回，125人）

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業目的	講師名
消費者講座 「相続トラブルにしないために！知っておきたい遺言と家族信託の基礎知識」	5月 31日	オンライン開催 文化会館 たづくり 研修室 (視聴)	16	財産の対策として、遺言書・家族信託の利用方法や注意点を学ぶ。	明石 久美 (明石行政書 士事務所／明 石シニアコン サルティン グ)
東京都・調布市共催講座 「食品表示を活用して、毎日をより	9月 15日	文化会館 たづくり 映像シア ター及び	15	食品表示制度・特定保健用食品・栄養機能食品・食品添加物・遺伝子組み換え食品等につ	上 藺 薫（東 京家政学院大 学現代生活学 部 食物学科

健やかに！～健康サポートに食品表示を活用するには～」		オンライン開催		いて学び、生活バランスの取れた食生活を送るための知識を身に着ける。	応用食品科学研究室 准教授)
消費者講座 「手作りみつろうラップではじめるエシカルなくらし」	10月21日	文化会館 たづくり 1002 学習室	16	「洗って繰り返し使える」「天然素材の通気性と保湿性、蜜蝋の高い抗菌性によって食品の鮮度を保ってくれる」「使用後は土に返って堆肥となる」という特徴のあるみつろうラップを実際に作り、生活の中にエシカル消費を取り入れるヒントを楽しく学ぶ。	児島 秀樹・ 加藤 和歌子 (グッドモーニング調布！)
消費者講座「今どきの葬儀・お墓～わたし・家族に合ったかたち～」	11月16日	文化会館 たづくり 映像シアター	28	葬儀の目的、葬儀費用、お墓を買うことの意味を、死をめぐる現状や法律とともに学び、自分たちにあった形を見つけていくきっかけとする。	小谷 みどり (一般社団法人シニア生活文化研究所代表理事)
消費者講座「捨てることから始めない片付け～お掃除しやすい快適なお部屋づくり～」	12月13日	文化会館 たづくり 映像シアター	50	「二度と散らからない」がずっと続く、今までのまですてるという概念ではなく、捨てない片付けの方法を学び快適な住空間を作る術を身に着ける。	古堅 純子 (幸せ住空間セラピスト・家事効率化支援アドバイザー)

ウ 出前講座（開催11回、参加者1,017人）

消費者の自立を支援するため、消費生活に関する知識の普及及び情報の提供等消費者に対する啓発活動を推進するとともに、消費者が生涯にわたって消費生活について学習できるよう支援する。

また、出前講座のうち1回は、成年年齢が引き下げられたことを踏まえ、調布市相互友好協力協定を結んでいる電気通信大学の入学ガイダンスで、若者向け消費者被害防止講座「18歳から大人！大人だからできること、知っておいてほしいこと」を実施した。

電気通信大学入学ガイダンス

開催日 令和4年4月9日 参加者 会場参加17人 オンライン参加635人

会場 電気通信大学

エ 出前授業（開催2回、参加者588人）

消費者教育推進法に基づき、市教育委員会と連携し、成年年齢引き下げに伴う消費者トラブルの未然防止に向け、若年層への消費者教育を実施した。

(ア) 調布市立神代中学校

開催日 令和5年2月27日

3年生260人 テーマ「ネットのトラブルこんなときどうする？」

(イ) 調布市立深大寺小学校

開催日 令和5年3月6日

3・4年生154人 テーマ「お金の使い方～オンラインゲームから考えよう～」

5・6年生174人 テーマ「お金とネットに強くなろう」

オ 調布市消費者団体連合会との連携

消費生活の安定及び向上を図るため、消費者被害防止の啓発活動をするもの

「消費者のつどい」にて、消費生活のトラブル事例から対応策を学び、出前寄席の漫才で楽しく学び、生活を豊かにする講座を開催した。

開催日 令和5年3月10日 参加者 14人

会場 調布市文化会館たづくり12階 大会議場

(3) 消費者啓発用パンフレット等の作成

消費生活に関する正しい知識の啓発と消費者被害を未然に防止するため、パンフレットや教材等を作成・配布し、啓発に努めるもの

ア 「くらしの豆知識（2023年版）」 1,500部

イ 「生活ひとくちメモ2023」 3,000部

(4) 成年年齢引き下げに伴う啓発

成年年齢引き下げ啓発チラシ「18歳で大人になるってどういうこと？」を作成し、市内都立及び私立高校6校の2年生を対象に、1,346枚配付した。

学校名	配布数
都立調布北高等学校	245
都立調布南高等学校	246
都立神代高等学校	285
晃華学園高等学校	150
明治大学附属明治高等学校	260
桐朋女子高等学校	160

(5) 調布市消費啓発用キャラクター「チー坊」

令和4年3月23日付で消費者庁長官から消費者教育推進大使の委嘱（継続）を受け、環境フェア内フードドライブ、地域文化祭、市内小・中学校出前授業に参加した。

(6) 調布市消費者安全確保地域協議会の活動

市民の消費者被害の未然防止及び拡大防止を図るため、市民の皆様が安心して生活できるよう、見守りネットワーク会議に参加し、消費者被害防止の啓発を行った。

(7) 食品ロス削減の取組

市内事業者（調布パルコ、トリエ京王調布）と連携しながら、調布市消費者団体連合会及び調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会と協力し、フードドライブを年3回実施した。集まった食品は、市内の子ども食堂、フードバンク調布、福祉施設等に配布した。

第1回 令和4年6月29日 集まった食品数 4,345個

第2回 （環境フェア内）令和4年10月22日 集まった食品数 1,879個

第3回 令和5年2月17日 集まった食品数 6,403個

4 生涯学習推進事業

予算科目（款・項・目）10・35・19 [決算書142ページ]

市民の自主的な学習活動を支援することを通して、参加と協働のまちづくりを推進し、市民の生涯学習活動への参加促進及び団体活動の活性化を図るもの

(1) 調布市生涯学習推進協議会の開催

ア 概要 調布市生涯学習推進協議会条例に基づき、必要な生涯学習事業及び生涯学習施設の在り方について検討協議し、答申するもの

イ 委員構成等 有識者（1人）、大学（1人）、団体・NPO等（5人）、市民（2人）、調布市文化・コミュニティ振興財団職員（1人）をもって組織 男6人、女4人

ウ 開催回数 3回

開催回	実施月日	内容
第1回	令和4年12月13日	・調布市基本計画に位置付けた生涯学習のまちづくりについて ・生涯学習に関するアンケートについて
第2回	令和5年1月17日	・生涯学習に関するアンケート調査結果について(速報値) ・生涯学習に関する団体ヒアリング結果について ・調布市における生涯学習振興の基本方針について(答申素案)
第3回	令和5年2月15日	・生涯学習に関するアンケート調査結果(報告)について ・調布市における生涯学習の振興に向けた基本的な考えについて(答申)

エ 市における生涯学習の振興に向けた基本的な考えについて(答申)

調布市生涯学習推進協議会へ諮問した今後の生涯学習の振興に向けた取組の方向について、生涯学習を取り巻く国や東京都の動向などを踏まえ、市における生涯学習の振興に向けた基本的な考えとして、答申がとりまとめられた。この答申を踏まえ、次期基本計画における生涯学習分野の施策を体系化した。

(ア) 生涯学習の振興に向けた基本的な考え

“人生100年時代”を見据え、幅広い年代に向けた多様な分野における学びのきっかけづくりや、一人一人が、性別や国籍、障害の有無等に関わらず、それぞれの興味・関心や生活スタイルに応じて学習し、その成果をまちづくりに生かすことのできる場の確保や活動の支援に取り組む必要がある。

こうした生涯学習を取り巻く社会潮流や、国及び東京都の動向などを踏まえ、様々な特色を有する相互友好協力協定を締結する大学や、包括協定を締結する事業者のほか、「ちょうふ市民カレッジ」をはじめとする各種生涯学習の機会を提供する調布市文化・コミュニティ振興財団など、市の強みである多様な主体と連携を図りながら学ぶことができる環境づくりや、学んだ成果をまちづくりに生かすことができるよう取り組む。

(イ) 基本的な考えを踏まえた4つの取組テーマ

テーマ1	“人生100年時代”を見据えた誰もが生涯学習に取り組むことができるまちづくり
テーマ2	生涯学習に取り組む市民からの相談への対応や情報共有の充実
テーマ3	産学官による多様な主体と連携した学びの場の充実
テーマ4	学びの成果を生かすことができる環境の充実

オ 生涯学習に関する調査

生涯学習を取り巻く地域課題の整理に向け、生涯学習に取り組む各種市民団体等へのアンケート調査及び市内の活動団体からのヒアリング等を実施した。

(2) 生涯学習情報コーナー運営事務

専門職である調布市生涯学習まちづくり推進員が、市内で活動する各種サークル・団体情報及び講師情報を窓口、電話及びホームページで市民に提供するもの

ア 相談受付時間 午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで

イ 登録数

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
サークル・団体数(団体)	719	689	672
講師数(人)	115	115	81

ウ 相談件数 (単位:件)

令和2年度	令和3年度	令和4年度
641	779	858

エ サークルガイドブックの発行 2,000部

オ 生涯学習サークルボランティアメニューの発行（生涯学習地域サポート事業）500部

カ 生涯学習サークル体験事業の記録の発行 150部

キ 各種媒体を活用した情報発信

(ア) コミュニティFMによる情報提供

生涯学習や市民活動に関する情報を周知することで、市民の生涯学習や市民活動への参加を促進させることを目的として、調布エフエム放送で番組を放送した。

番組名 「生涯学習・市民活動のススメ」

放送 毎週日曜日 午前11時50分から10分間

放送内容 みんなの広場展示紹介・サークル紹介・生涯学習情報、市民活動支援センター情報

放送回数 51回（年間）

(イ) 生涯学習情報コーナーウェブサイトによる情報提供

地域情報発信の中心的な役割を担う「ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）」との連携を図りながら、生涯学習情報専用ページ「生涯学習情報コーナー」で生涯学習に関する情報提供を行った。

(ウ) 市公式SNSによる情報提供

市公式ツイッター、フェイスブック、LINE等のSNSを活用し、主に地域デビュー事業等の生涯学習に関する情報発信を行った。

(3) 地域デビュー事業の実施

シニア層及び地域活動への参加を希望する市民を対象に、地域活動参加のきっかけづくりを支援し、市民のまちづくり活動を推進させることを目的として、地域デビュー推進委員会と連携して各種事業を実施した。

講座名	実施月日	会場	参加者数（人）
地域デビュー歓迎会	9月4日	グリーンホール 小ホール	50
男性ビギナーのための料理教室	11月30日, 12月9日	文化会館たづくり 調理室	10
調布再発見 学習会&徒歩ツアー 「調布飛行場の過去から現在まで」	12月5日, 8日	(事前学習会) 文化会館たづくり (徒歩ツアー) 市内	25 (事前学習会) 15 (徒歩ツアー) 10
さあ！やってみようボランティア	2月9日	文化会館たづくり 映像シアター	20
サークルデビューしませんか？	3月3日	文化会館たづくり 大会議場	29

(4) 生涯学習サークル体験事業の実施

市民が生涯学習の楽しさを知り、地域との関わりを持つ機会を提供することを目的として、新たにサークル活動を始める方への支援や団体活動の更なる活性化に向けて、地域デビュー推進委員会と連携して各種取組を行った。

ア 生涯学習サークル体験事業の実施

体験者を受け入れるサークルの活動について市報で参加者を募集した。

(ア) 参加団体 23サークル

(イ) 参加者 89人(うち、新規入会者25人)

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い、2サークルの活動に中止・一部中止あり

イ 「サークル体験 in みんなの広場」の実施

複数のサークルが一堂に会し、新たに活動を始めたい方に向けた体験会を開催した。

延べ参加者数 12人

開催回	実施月日	参加サークル	参加者数 (人)
第1回	8月1日	アロマサークル・アロマリエ, キルトそめち	8
第2回	2月6日	南部菱刺しの会	4

(5) 生涯学習出前講座の実施

ア 総講座数

市役所編125講座(子ども向け講座20講座を含む。)

イ 実施状況

121件(うちオンラインでの実施3件)

※ オンライン実施は対面との併用を含む

※ 新型コロナウイルスの影響により、実施件数のうち4件の延期あり

(6) 市民が主役のまちづくり大学事業

大学・地域・行政の連携に関する市民の認識を深め、これからの魅力あるまちづくりにおける市民の積極的な参加の促進などを図るもの

ア 相互友好協力協定締結大学定例会の実施

文化、教育、学術、スポーツ等の分野で援助、協力し相互発展を図ることを目的として、相互友好協力協定を締結している地域の7つの大学等と、市との連携事業や各大学等の市民向けの取組に関して定期的に意見交換する場を設けた。

実施年月日 令和4年5月20日、9月2日、12月2日、令和5年3月3日

イ 各大学等との連携

(ア) サイエンスカフェChofuの開催

電気通信大学との共催により、高校生以上を対象に平成29年度から実施しているサイエンスカフェChofuを全4回開催した。令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、オンラインで開催した。

開催回	実施月日	テーマ	講師	参加者数 (人)
第23回	5月14日	まさつの科学～持続可能な社会実現の鍵～	佐々木成朗教授(電気通信大学共通教育部・基盤理工学専攻, ナノトライボロジー研究センター長)	51
第24回	7月9日	Googleのいないバーチャルリアリティ(VR)～VRの基礎から(意外な)応用まで～	野嶋 琢也准教授(電気通信大学大学院 情報理工学研究科・情報学専攻)	122
第25回	9月10日	スパコン「富岳」でヒトの脳は作れるか?	山崎 匡准教授(電気通信大学大学院 情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻)	79
第26回	11月12日	中止		

第 27 回	2 月 11 日	環境に優しい水素飛行機の研究開発	田口 秀之氏（宇宙航空研究開発機構（JAXA） 航空技術部門 環境適合エンジン技術チーム長）	55
--------	----------	------------------	--	----

ウ 市報ちょうふ「相互友好協力協定締結大学の市民対象の事業紹介」掲載

毎月 5 日号の市報ちょうふに大学が実施する市民対象事業の紹介記事を掲載した。

また、同内容をホームページ及び生涯学習情報専用ページ「生涯学習情報コーナー」にも掲載した。

(7) みんなの広場運営事務

市民、生涯学習・市民活動団体が、自由に生涯学習活動を行う場を提供するため、文化会館たづくり 1 1 階のみんなの広場（打合せや展示スペース）の貸出しをするもの

ア 運営概要

利用時間 午前 9 時から午後 9 時 3 0 分まで

用途 打合せ・作業，作品展示

対象 生涯学習・市民活動団体，市民グループ，個人学習

イ 利用状況

(ア) 打合せ・作業等

活動分野 年度		社会 福祉	教育・文化 ・スポーツ	国際 交流	まち づくり	環境 保全	保健 医療	行政	その他	個人 学習	合計
		利用 団体数 (団体)	2	126	1,076	77	59	19	2	31	187
	3	176	1,121	132	53	24	2	32	179		1,719
	4	209	1,387	177	68	27	6	33	157		2,064
利用 人数 (人数)	2	594	4,482	292	297	94	8	115	610	394	6,886
	3	1,042	5,262	375	303	116	5	140	674	210	8,127
	4	1,110	6,680	501	390	141	27	140	555	150	9,694

(イ) 作品展示

	年度	合計
利用団体数 (団体)	2	16
	3	15
	4	20
利用延べ日数 (日)	2	94
	3	87
	4	122

※ 利用延べ日数には、準備のために利用した日を含む。利用団体数及び利用延べ日数は、展示の初日が属する月で集計した。

5 調布市グリーンホール 予算科目（款・項・目）10・35・30〔決算書146ページ〕

グリーンホールは、大小 2 つのホールを擁し、文化芸術企画の提供と市民文化活動の拠点として使用されているもの

平成 1 8 年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和元年度からは指定管理期間を新たに 1 0 年間とした。

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、利用人数等の制限や施設利用キャンセルに伴う利用料金の還付を行った。

(1) 施設使用状況

2施設、稼働日308日、1施設当たり使用可能単位924単位

年 度		大ホール	小ホール	合 計
使用件数 (件)	2	415	445	860
	3	496	515	1,011
	4	792	775	1,567
稼働率 (%)	2	61	65	
	3	67	69	
	4	86	84	
来場者数 (人)	2	20,300	9,677	29,977
	3	47,630	17,943	65,573
	4	107,650	28,024	135,674

(2) 施設整備に関する取組

令和3年度に引き続き、グリーンホールの整備及び運営に関する専門的知見を有するコンサルタントからのアドバイザー支援を受け、ホール機能及び規模の検討を行うとともに、これまでの施設利用団体との意見交換等を踏まえ、グリーンホールの整備に関する検討会設置に向けて、構成メンバーや検討内容等について検討を行った。

(3) 施設工事・改修状況

なし

6 調布市文化会館たづくり

予算科目(款・項・目) 10・35・35

[決算書146ページ]

文化会館たづくりは、文化芸術、コミュニティ活動及び生涯学習の拠点施設として種々の事業を実施しており、市民はもとより大勢の人々に使用されているもの

平成18年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和元年度からは指定管理期間を新たに10年間とした。

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、利用人数等の制限や施設利用キャンセルに伴う利用料金の還付を行った。

また、非構造部材等の改修工事に伴い、館内の一部施設を下記のとおり利用停止した。

くすのきホール(令和4年4月1日から令和5年1月31日まで)

大会議場(令和4年4月1日から同年10月31日まで)

映像シアター(令和4年4月1日から同年6月30日まで)

むらさきホール(令和4年11月1日から令和5年1月31日まで)

(1) 入館者等の状況

月	区分	入館者数(人)		使用台数(台)	
			(うち図書館)	駐車場	駐輪場
4		94,216	36,472	3,660	7,003
5		92,831	38,551	3,456	8,088
6		101,857	38,817	3,719	8,748

7		116,456	43,321	4,078	9,015
8		102,147	44,582	3,337	8,994
9		110,462	37,268	3,700	7,683
10		126,175	42,112	3,967	9,966
11		140,704	40,000	3,741	10,131
12		135,294	37,243	3,216	8,443
1		126,242	42,530	3,577	8,259
2		127,617	35,602	3,260	8,165
3		151,216	40,808	4,185	8,125
合 計	2 年度	1,107,831	334,288	37,170	71,924
	3 年度	1,396,476	404,565	45,271	87,848
	4 年度	1,425,217	477,306	43,896	102,620
月平均	2 年度	92,319	27,857	3,098	5,994
	3 年度	116,373	33,714	3,773	7,321
	4 年度	118,768	39,776	3,658	8,552

(2) 施設使用状況

ア ホール系

6 施設，稼働日 3 3 1 日，1 施設当たり使用可能単位 9 9 3 単位

区分 年度		くすのき ホール	むらさき ホール	大会議場	映像 シアター	ギャラリー		合 計
						南	北	
使用 件数 (件)	2	486	625	372	294	339	374	2,490
	3	751	850	570	499	786	742	4,198
	4	152	708	279	506	753	795	3,193
稼働 率 (%)	2	65	84	50	39	45	50	
	3	80	91	61	53	84	80	
	4	96	94	70	69	76	80	

※ みんなの広場の利用状況は、「4(7) みんなの広場運営事務」において掲載。

イ 諸室系

3 4 施設，稼働日 3 3 1 日，1 施設当たり使用可能単位 9 9 3 単位

区分 年度		リハーサル 室	音楽練習 室 (4 室)	研修室	和 室 (3 室)	学習室 (小 2 室)	学習室 (大 2 室)
	3	802	2,972	692	1,653	1,175	1,375
	4	681	3,499	779	1,492	1,443	1,534
稼働 率 (%)	2	85	69	64	53	64	71
	3	86	80	74	59	63	74
	4	90	88	78	50	73	77

区分 年度		調理実習室	談話室	会議室 (小 9 室)	会議室 (大 2 室)	茶 室	創作室 (2 室)

件数 (件)	3	274	242	5,739	1,179	228	1,072
	4	368	324	6,709	1,482	314	1,131
稼働 率 (%)	2	14	10	60	64	18	51
	3	29	26	68	63	24	57
	4	37	33	75	75	32	57

区分 年度		暗室	スタジオ	保育室 (3室)	合計
使用 件数 (件)	2	91	286	458	13,656
	3	101	467	464	18,435
	4	130	525	691	21,102
稼働 率 (%)	2	12	37	20	
	3	11	50	17	
	4	13	53	70	

※ 編集室はビデオ等の編集に使用する場所で、部屋のみの貸出しは行っていないため施設使用状況には含めていない。

ウ 個人学習室

(単位：人)

区分 月		一般学習室	社会人学習室	合計
合計	2年度	49,103	10,585	59,688
	3年度	65,724	18,281	84,005
	4年度	86,207	28,993	115,200

エ 図書館

(単位：人)

区分 月		4階	5階	ハンディ キャップ サービス	視聴覚 資料室	合計
合計	2年度	229,146	84,936	1,853	17,575	333,510
	3年度	283,111	102,349	2,045	20,589	408,094
	4年度	334,292	120,388	2,724	20,414	477,818
月平均	2年度	19,096	7,078	154	1,465	27,793
	3年度	23,593	8,529	170	1,716	34,008
	4年度	27,858	10,032	227	1,701	39,818

※ 資料提供：図書館

(3) 施設工事・改修状況

- ア くすのきホールほか3箇所非構造部材改修工事
- イ くすのきホールほか3箇所非構造部材改修に伴う電気設備工事
- ウ くすのきホールほか3箇所非構造部材改修に伴う機械設備工事
- エ くすのきホール調光設備更新工事
- オ 映像シアター調光用負荷設備更新工事
- カ 非常用電源設備整備工事
- キ 展示室内裝修繕

ク アトリウム排煙設備修繕

ケ ゴンドラ設備分解整備

(4) 設備更新型E S C O事業

空調熱源の更新及びエレベーター等の改修について、省エネルギー効果を見込む設備更新型E S C O事業として令和3年度に引き続き、実施した。

省エネルギーサービス提供期間 令和4年5月1日から令和14年3月31日まで

7 文化・コミュニティ振興財団補助(事業)

予算科目(款・項・目) 10・35・35

[決算書146ページ]

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団に対し、財団が行う自主事業等に対する補助金を交付するもの。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一部事業の中止及び変更を行った。

(1) 共催事業

(単位：人)

事業名	実施月日	会場	参加者又は 視聴者数	事業内容
調布国際音楽祭2022	6月18日 ～6月26日	文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、深大寺、布多天神社、調布駅前広場	延べ 9,508	世界で活躍するアーティストによるコンサートのほか、キッズコンサートや桐朋学園大学の学生による公演、深大寺本堂でのコンサートなどを開催するもの
調布よさこい2022	8月27日		延べ 8,490	よさこい踊りを通じて、踊り手、来場者及び地元商店会等の地域住民の交流を図ることを目的に開催するもの 令和4年度は規模を縮小し、感染防止対策を講じながら実施した。
映画のまち調布シネマフェスティバル2023	1月27日 ～2月19日	文化会館たづくり、グリーンホール、イオンシネマシアタス調布、図書館	延べ 40,647	市内の映画・映像関連企業、団体と連携し、作り手にスポットを当てた映画祭として開催するもの 市民投票と選考委員で選定する「第5回映画のまち調布賞」の授賞式のほか、投票上位作品の上映、関連展示等を行った。 市民投票総数 16,142票

8 せんがわ劇場

予算科目(款・項・目) 10・35・40 [決算書148ページ]

せんがわ劇場は、市民の舞台芸術の創造及び発信の拠点、身近に文化芸術に触れる機会を提供する場として、使用されているもの

令和元年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営している。

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、利用人数等の制限や施設利用キャンセルに伴う利用料金の還付を行った。

また、改修工事のため、令和4年9月から令和5年3月まで一部予約を除き利用停止とした。

(1) 施設使用状況

2施設、ホール、稼働日223日、使用可能単位654単位

リハーサル室，稼働日190日，使用可能単位565単位

年 度		ホー ル	リハーサル室	合 計
使用件数 (件)	2	534	609	1,143
	3	808	827	1,635
	4	594	502	1,096
稼働率 (%)	2	69	77	
	3	83	85	
	4	91	89	
使用可能 単位 (単位)	2	774	795	
	3	971	971	
	4	654	565	

(2) 施設工事・改修状況

ア 調整室ほか空調機設置工事

イ 外壁及び屋上防水改修工事